

菩提樹（大谷中学校通信）

2015年度12月号

成道会を行いました！

大谷中高にとって最も大きな仏教行事は先月行った「報恩講（親鸞聖人の御命日）」ですが、それ以外にも「花まつり」「成道会」「修正会」「涅槃会」などがあります。昨年までプリントでの紹介に終わっていた「成道会（お釈迦様が悟りを開かれた日）」を今年度から12月8日を基準（今年は12月14日（月）1限）に行うことにしました。講堂礼拝と同じように最初に三帰依を斉唱した後、太田校長の成道会にあたってのお話を聞きました。太田校長は、お釈迦様の悟りについて、「この世にあるあらゆるものは永遠不滅のものは1つもない、それゆえそのことをしっかり受け止めて、限られたいのちをしっかりと生きよ、とされているのです。」と話され、最後に「私は皆さんをいつも尊敬しています。いつか仏様になる人だから。」と結ばれました。この言葉を生徒はどう受け取ったのでしょうか？ お話の後、成道会でも恩徳讃を斉唱して結びました。

尚、礼拝においても、学校報恩講が行われた以降は**恩徳讃**を斉唱しています。

「如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし 師主知識の恩徳も 骨を砕きても謝すべし」

性教育講演（I II年生対象）

昨年に続き、小西朋子助産師さんに「今、みんなに伝えたいこと 生と性」というテーマでお話してもらいました。その中で、男女の特徴や大変さを言葉と体験で学



お話される小西先生



妊婦さんは大変

びました。特に、代表生徒二人には妊婦体験として10kg弱の重さ（妊娠10ヶ月程度）をお腹につけて1時間半を過ごしてもらいました。おもりを外すとき二人はそろって、とても重かった、大変だったとしみじみ語ってくれました。自分たちの母親がこんな大変な思いをしながら自分を産んでくれたということを十分に伝えられた体験でした。この体験は二人だけでなく、周りの仲間にもわかってもらえたのではないかと思います。講演以降、母親に対する意識が大きく変わる生徒もいるのではないのでしょうか。

生きているだけで 100 点満点 ⇒ 自分を大切に ⇒ 他人を大切に！

性教育講演で小西先生は、「皆さんの命(命の確率= 1 / 400 兆~2500 兆)はつながってきてもらった命であり、お母さんが産むと決めてくれたから生まれたのです。だから、皆さんは、生きているだけで 100 点満点なのです。そのことを理解して、自分を大切にしてほしいし、他人を大切にできる人になってほしい。」と話されました。

ここでも、命の大切さについて学ばされました。

◎ 2 学期終業式に表彰しました！

- 「漢字検定受検(10/31 実施)」結果が優秀だった生徒 9 名を表彰しました。中でも、高校生でもなかなか合格の難しい「2 級」において、3 年の棚橋丈睦君と馬場志保子さんの二人が見事に合格してくれました。よく頑張りました。本当にうれしく思うとともに誇りに思います。また、受検級こそ違うものの自分の「目指す級」でしっかり結果を出した生徒も多数いました。お子さんの努力を大いに褒めてやってください。中学としては次年度も同じ時期に実施する予定ですので、今から意識させておいてください。尚、それまでに個人的に受検しても構いません。
- 普段の授業で取り組んだものの中から優秀な作品を「私学展(11/27~29)」に出品しました。得手不得手はあるものの、彼らは日頃の美術の授業を大切にしている生徒と言えます。彼らもまた大いに褒めてやりたいと思います。

2 学期の終わりにあたって

2 学期は、本日の冬期講習をもって(終業式は 12/17 でしたが)終わりました。今年は大谷中高創立 140 周年の年であり、どの学年にとっても大きな変化と飛躍の 2 学期だったことと思います。1 年生にとっては、学校にも慣れ大谷生としての自覚ができた時期、2 年生にとっては、3 年生が引退した後のクラブ活動や学校内での次期リーダーとして自覚を持ちはじめた時期、そして 3 年生にとっては、高校へ向けての意欲が表れた時期だったと思います。個々によって違いはあるものの大谷中学生として過ごした 2015 年を意味あるものとして位置づけてくれたと思います。年度としてはまだ 3 学期が残っていますが、学年の最後の 3 ヶ月、私たち教員も彼らにとって悔いの残らぬ学年末になるようバックアップしていきます。保護者の皆様におかれましても、子供たちを常に応援してくださるよう宜しくお願いいたします。

※成績表と一緒に「3 学期の行事予定表」をお送りしておりますので、ご確認ください。尚、3 学期始業式は 1 月 7 日(木)ですが、その前日の 10 時から修正会(しゅしょうえ)を本校講堂で行います。お子様と一緒に是非お参りくださいますようお願い申し上げます。

文末になりましたが、保護者の皆様にはご自愛くださって、どうぞ良い年をお迎えください。そして、来年も宜しくお願いいたします。

(大橋)